

ほたる草

発行責任者
代表：杉浦史郎
765-4041



今後の活動に期待 初めて開催の部会集會

3月部会集會

3月例会では、企画・設計・製作・広報の4部室に分かれて、それぞれ今後の展望が討議されました。

企画部会

企画部会では、お花見など親睦会の計画や当会5周年記念事業の構想が...

製作部会

製作部会では、まず第一に初期診断者と施工担当者とのより密接な意見交換の場が切望されました。

設計部会

設計部会では、まず初期診断チェックリストを作成して、診断をより的確に行けるようにする...



部会毎に成を發表

次に、過去の事例を振り返り、事例集をまとめる計画や蓄積したノウハウを素材マニュアルに...

広報部会では、とにか担当メンバーが足りない事が一番の問題です。毎月発行する事は是非が...

製作の現場に於ける安全への配慮も欠かせないから、しかるべく安全管理者の設置が望ましい...

身近な問題の健康住宅

化学物質の危険性を学習



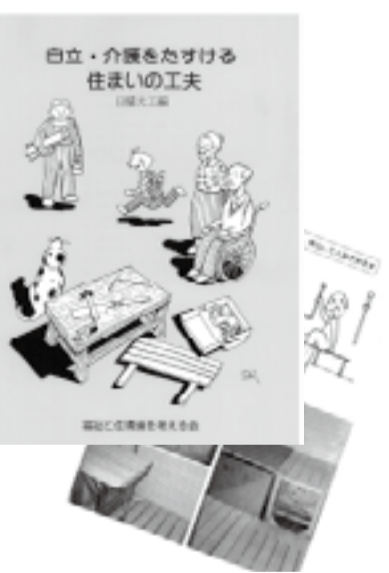
藤田氏は(有)ホームアイ「住まい・環境研究」を主宰され、建築家、インテリアコーディネーターとして...

も今回は動きが速く、1997年に化学物質の「ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン」...

健康を考えると張り直した住宅工法や住居形態と発症の因果関係が...



「痴呆公務員」



自立・介護をたすける住まいの工夫 (日曜大工編) が完成

「ふくてつく」の日曜大工ボランティア教室も毎回盛況で、女性の受講者も多く...

「ふくてつく」の日曜大工ボランティア教室も毎回盛況で、女性の受講者も多く...

「特定非営利活動」とは、不特定かつ多数の人の利益を主たる目的とし、保健・医療・福祉の増進など12分野の範囲が設定されている。

NPO (特定非営利活動促進法) は経済企画庁に定められた法律で、NPOとは、Non Profit Organizationの略称。全国に約八万五千ある...

工具の扱いは基本が大切

藤本木工所で木工研修会

2月21日弁天町の藤本木工所「ダツタカナ」と手引書を工所の仕事場にお邪魔してきました。

木や道具と工具の話から始まって、ふくてつくの工具類の安全な使い方の講習です。どれを使うにしても

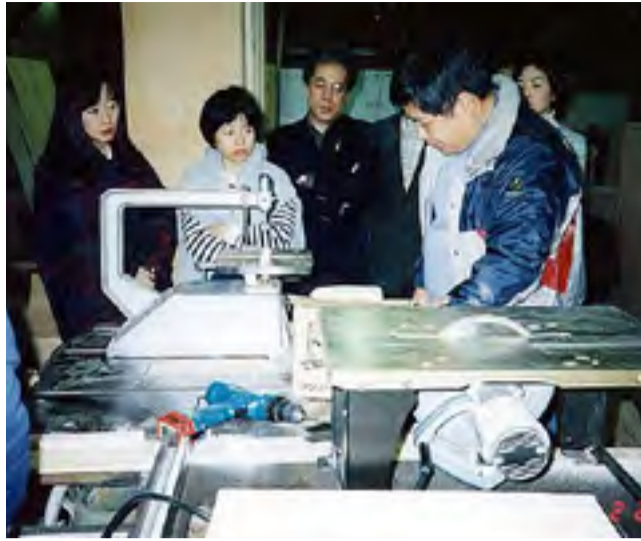
①切るため削るためには定規（直角を作る）や物を固定させるクランプ（万力）が最低限必要であること。

②物や木の性格をよく知ってないと正しい取り扱いはできず危険であることなど、実際に使っているのをみてもらいました。

基本的なことばかりでしたが、10種類余りと数もあり、いざ自分で使うとなると「アレッ、ドウ（？）」「さすがプロが、やってみると以外と難しいんですけど。」と、実際に工具を使えばいいですね。さあ挑戦です！楽しんで頑張るぞー！

講師の藤本さんありがとうございました。

(記 岩元百合子)



藤本さんから説明を受ける

エンブレムのお知らせ



「ふくてつく」のエンブレム（バッジ）が出来ました。デザインは橋本氏、パソコン処理は木村氏、「バッジ」の製作は大和川園でお願いしました。「ふくてつく」のメンバーが今後開かれるイベントへ参加する時には、胸に着けていただく予定です。



木工教室の気は高い

会場にあふれる子供たち

大盛況のおおごえカーニバル

百貨店も、スーパーも人がいて、元気のよい声。食品売り場を除くとガラガラで子供をどんどん呼び込めなす。どうしたら人があついで、狭い会場は子供集まるのかと頭を悩ませ場もないほど。ふくてつくの人々がいたら、ここのメンバーの参加が、来てみてください。公もつと必要です。

園いっぱい人があついで、簡単な電動工具も試しています。大和川園のしに使用してみることがネットワークの強さ、日でもありますし、子供相手ごろの仲間づくりの成で楽しいひとときが過ぎます。一息楽には今年も例年どおり、子ら、次回の機会には、是非木工教室を担当し、非多数ご参加ください。み担当のボランティアさん（記 木村多加緒）

新入会員の紹介

伏木考子さん
生活に密着した機能性とデザイン、もの造りをめざしたいと思います。



藤本香珠江さん
市社協介護支援の相談員をしています。住環境について一緒に勉強させていたきたいと思っています。



事例報告

A ニード
B 日常生活と家庭状況
C 解決方法
D 改善後の状況と考察

本人の意欲と介護負担の軽減

手すりの意義を再認識

平野区Mさん 30歳 男性

A 浴室、トイレに手すりをつけてほしい。
B 右半身マヒ 握力はありますが、歩行の時は足が少しずつ前に出ず、支えが必要。奥さんと2人暮らし。
C 据え置き式浴槽で本人の足が上がりやすく、奥さんの介護負担が大きいため、浴室に手すりとして、慣れた手つきでめの手すりの設置。その他、室内に本人の立ちあがり、歩行の手助けのため、歩行の手すりを、本人と奥さんとの話し合いの上決定した。

D 3月23日に給付が、本人は1日、河元氏より連絡がある。年度末のため4月1日に施工した。

た。手すり1本の取り付けで、本人の行動の意欲と介護の負担軽減がされることが確認でき、改めて手すりをつける意義を見出した。（鴻上・新開・坂田）

外出介助が容易になります

玄関にリフトを設置

西成区Mさん 30歳 男性

A 玄関の上り下りを楽にするため、外出介助の負担を軽減したい。
B 本人と奥さんの2人で、完成した玄関を見た右半身マヒ。居室内では杖歩行、壁や戸の縁を持ちながら、ゆっくりと移動している。足の上がり、奥さんの介助場が多。

C 玄関床と土間との段差が6センチ。コンクリートの踏み台があるが、その段差も上がりが、その段差も足が上がる。また、奥さんの息子さんD 3日間雨の中、工事を完了した。最後に行い無事完了した。最後に、完成した玄関を見た右半身マヒ。居室内では杖歩行、壁や戸の縁を持ちながら、ゆっくりと移動している。足の上がり、奥さんの介助場が多。

3月28日勝手に集まって勝利の歩会「てつく」を開催しました。集合場所は地下鉄守口駅。コースは淀川堤防を歩いて桜ノ宮公園から大阪城まで。出席予定もたらず、出発時間になれば、集まっ



慣れた手つきで手すりを取りつけ

3・4月事務局会

①3月の部会集会上で、企画部会提案のお花見は津山グループとの日程調整が不調で、夏に阪堺電車ツアーを企画する。

設計部会提案の初期診断チェックリスト・図のフオーマットについて、畑会員が担当して原案を作成する。同じく設計部会提案の事例図集案について、6月は5周教室。5月は「アーは過去年度の事例から適当な物をピックアップする事から始める。②5月総会月報は、担当役員の役割を協議。③懸案の会を予定。8月には、「子供と親の木工教室」を会員名簿は5月総会で配布ができるよう準備を進める。④今後の例会予定について、5月は総会と記念講演（大阪府立大学教



春の日をのんびり歩く

た人たちだけでスタート。途中ででもリタイアードという、超フリースタイルです。最小催行人数3名なのに、集合時間の15分前には2人の集合で、初回から中止かと心配でしたが、予定の10時には7名が集まりス

桜がちらほら咲き、雪柳やレンギョウは満開。ぼかぼかした春の日を、芽吹きの花を見ながらの、のんびりとした散歩です。次回お暇な方で気が向ければ、連絡不要です。ご参加ください。（記 木村多加緒）

定例会のお知らせ

《6月》

日時 6月6日(土) 午後1時30分〜5時

場所 大阪市立社会福祉センター3階 303・304

内容 50周年記念シンポジウム

- 「ボランティアの原点を探る」パネリスト
- 桑原英文氏 兵庫県社会福祉協議会
 - 窪田新一氏 サロン淀川代表
 - 竹村氏 大阪ボランティアセンター
 - 杉浦史郎氏 50周年記念シンポジウム代表
 - 新開加代子氏 知的障害者作業所カウンセラー
 - ふくてつく会 コーディネーター
 - 宇賀神紀子氏 ほたるの苑主宰
 - ふくてつく会

《7月》

日時 7月4日(土) 午後1時30分〜5時

場所 大阪市立社会福祉センター

内容 調整中

を形成して担当する。その山氏を招いてお話をうかがう。ラックスの大家、下口雄（記 中北 清）